

創立九十五周年を記念して、本校は、大正六年四月十四日、館林町立実科高等女学校として開校し、学制改革により県立に移管、高女、桐女、前女、富女、伊女、館女と、県内で六番目に設置されました。東毛の女子教育の中心校として、輝かしい実績を各分

風薰り、草木や花々が緑に染まる美しい季節を迎え、同窓生の皆様には、お健やかに多方面でご活躍のことと思います。

日頃より母校を懐かしみ、各年度行事に積極的にご参加いただきまして感謝申し上げます。

本校は、今年で九十五周年を迎え、本年まで五十周年、六十周年、七十周年、八十周年、九十周年と、学校、PTA、同窓会、学校後援会の支援に



同窓会長 宮田澄江

野で示しています。

本校の環境整備充実は、群馬県下でも誇れるものがあります。女子高校として、文武両道を目指し、国公立、有名私大へと成果が表われ、地域の方々からも高く評価されております。これも、校長先生はじめ諸先生の熱意あふれる御指導によるものと、同窓会としましても心強く思うと共に感謝申し上げます。

本校は、大正六年四月十四日、館林町立実科高等女学校として開校し、学制改革により県立に移管、高女、桐女、前女、富女、伊女、館女と、県内で六番目に設置されました。東毛の女子教育の中心校として、輝かしい実績を各分

創立九十五周年を迎えて



発行所
群馬県館林市尾曳町 6-1
群馬県立館林女子高等学校
同窓会
印刷所
太陽印刷工業株式会社

より、輝かしい歴史を歩んで参りました。

現在、東京同窓会が再開し、五年目を迎え、これ迄お骨折りいたいた阿久津先生を会長として、事務局長の川島佳子さんの存在を忘ることな

く、本部としても、支部活動を推進して参りたいと強く思っています。母校在職中の阿久津先生は、各周年行事には一流の演奏家を東京からお招きし、立派な演奏や声楽、音楽を志した生徒を輩出し、教え子が全国各地で華々しく活躍し、「館女生此處にあり」の金字塔を示していただいたことは、忘れることは出来ません。其の存在感の大きな立派な先生が退職後、上京なさります。先生を慕つて会員も増えていて、心より感謝申し上げます。これも、

先生のお人柄によるものと、心強く思うと同時に、安心して卒業生が音大に又、進路に向けて上京し、更に東京同窓会が発展し、向学心が高まると信じています。

其の事務局を担当し、発足の手がかりに力量を發揮して下さった川島佳子さんが、本年の開校式典の講演をお引き受け下さいました。

在校生、同窓生、教職員、同僚八百名を前にして、「人生は夢の学校」と題して御講演して頂きました。魅力あふれた美しく、お若い声でのお話しで、出会いの場や感動を与えたいというお気持が生徒に伝わった有意義な講演でした。世界に目を向け、幅広い諸活動振りと、夢の実現に向けての講演内容を、女性起業家として、企画・立案・実施して努力し、前向きに取り組む姿勢に、感動しました。

最後になりますが、懸案となつております。同窓会の皆様の後協力名簿が、平成二十三年度版となり、現在、東京同窓会長として、楽しい集いを実施しております。先生を慕つて会員も増えています。先生を慕つて会員も増えていて、心より感謝申し上げます。これも、

会員相互の連絡やお懐かしい恩師や、消息にお役に立てれば幸甚と存知ます。

太田支部の件について、お知らせがあります。昭和五十年に先輩の方々の熱意により太田支部が誕生し、総会をはじめ、各行事に御参加いただきました。先輩各位から貴重な御意見を拝聴しながら、先輩の活動状況にも接することができました。





『夢は実現』 のために

校長 新井久夫

平成二十三年度末の人事異動により、四月一日から本校第三十四代校長に就任しました新井久夫であります。同窓会員の皆様方には、これから何かと大変お世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。

本校は今年度創立九十五年

目を迎えました。卒業生は二六、七七八名を数えます。このような輝かしい歴史と実績のある伝統校の校長に就任できたことは誠に光栄でありますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいです。

同窓会員の皆様に改めて言うまでもないことではあります。ですが、本校はかつての館林城（尾曳城）の跡地の中に立地し、敷地内に往時の繁栄を偲ぶことができる、全国的にも珍しい由緒ある学校です。館林市は城下町の面影を色濃く残す歴史的・伝統的な都市で

本校に着任早々、校舎内外を見て回りましたが、春休み中とはいえ掃除が行き届いてきれいなことに感心しました。出会う生徒たちがみんな爽やかな挨拶をしてくれるの

で、こちらも清々しい気持ちになり、良い学校に来られたあり、城沼やつつじが岡公園等に代表される豊かな自然環境に恵まれております。さら

に、県立館林美術館、田山花袋記念文学館、向井千秋記念子ども科学館等の文化的な施設も充実しております。そして、これらが多くが本校に隣接しております。

このような素晴らしい環境に恵まれた本校には、伝統的に守り伝えてきた校訓があります。「自立自治」、「温雅健康」、「敬愛親和」の三つです。自ら考え、自ら学び、心身ともに健康で、知性と教養、豊かな感受性を持つ女性を目指すとともに、他者との協調を重んじ、互いに親しみ仲良く生きることを、学校全体のスローガンとしたものです。

こうした方向を押し進めるために、今年度の重点目標として次の7つを設定し、教職員全體で努力していくことにしました。(1) 安全・安心な教育環境の整備、(2) 教科指導の充実、(3) 進路指導の充実(一人ひとりの生徒の持つ進路希望を実現するため、3年間を見通した進学支援のためのマネジメントプログラムを再構築するとともにキャリア教育の充実を図る)、(4) 生徒指導

の充実(生徒の自主的・自立精神を生かしつつ、どのように強化)等、地球環境に関わる課題をきれいなことのできる規則を守ることのできる規範意識の高い生徒の育成を図るとともに、青春期の揺れ動く心理を踏まえた、きめ細かな指導を充実させる)、(5) 文化・スポーツ活動のより一層の充実、(6) 開かれた学校のための積極的な広報活動の展開(より敷居の低い学校を目指し、開かれた学校を一層推進するとともに、学校の諸活動を積極的に発信していく)、

生徒たちは県内外の大会やコンクール等で大いに活躍しており、学業も部活動とともに熱心に取り組み、バランスのとれた豊かな高校生活を送っております。

こうした方向を押し進めるために、今年度の重点目標として次の7つを設定し、教職員全體で努力していくことにしました。(1) 安全・安心な教育環境の整備、(2) 教科指導の充実、(3) 進路指導の充実(一人ひとりの生徒の持つ進路希望を実現するため、3年間を見通した進学支援のためのマネジメントプログラムを再構築するとともにキャリア教育の充実を図る)、(4) 生徒指導

(7) 地球環境を意識した取り組みの強化(資源枯渇、温暖化等、地球環境に関わる課題を常に意識し、自己の行動に反映できる生徒の育成を目指した取り組みを行う)。

本校が、今まで以上に、地域から愛され、信頼され、生徒の可能性を大きく伸ばせる学校となれるように、教職員と生徒が力を合わせて元気に頑張っていますので、同窓生の皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



母校体育館で行われた開校記念講演会

開校記念式典 記念講演会 演題 「人生は夢の学校」

講師

川島佳子氏
(昭和52年度卒業生)

開校記念式典 記念講演会
演題 「人生は夢の学校」
講師 プロフィール
略歴 東京国際大学教養学部国際関係学科卒業。立教大学大学院文芸研究科比較文明学専攻博士

前期課程修了。

ヨネックス株式会社入社後、秘書、コーディネーター、プロデューサー等を経て独立。現在、D&Associates International 代表エグゼクティブプロデューサー。群馬県人会理事。財團法人日本文化協会評議員。他、多方面にて活躍をしています。

人生は夢の学校

を聴いて

齋藤弘子

昭和 36 年度卒業



期待

お見かけする度、生き生きと輝いて見える方だと思っておりました。親しくお話する機会はございませんでした。が、いつも、前向きに生きていらつしやることが感じられる魅力的な方でした。

『略歴』を拝見し、びっくりいたしました。あまりに広い分野でご活躍をしていらっしゃることに。今迄の印象が間違いでなかつたことに喜びを覚え、お話を拝聴できる日が待ち遠しく、期待で胸がいっぱいになりました。

感動

『颶爽』という表現がぴたりの登壇でした。小学生の頃から夢をもつて力いっぱい取り組んだ数々の体験から、お話を始まりました。それは、音楽であり、体操であり、本来具わっていた感性が一層豊かに磨かれていったことがありました。小さな挫折はあつたようで

すが、それも、次に羽ばたく糧として力を伸ばしていらつしたようです。折にふれ支えてくれる師や友に恵まれたのは、川島先生の前向きで直向きな生き方が心に響いたからだと納得できました。

いつも夢を持ち、それを実現させるために自己研鑽をつまられました。それが、学問のみならず、人との絆を深め、広げていくことになつたようです。

会社勤務、衆議院議員秘書、コーディネーター等々、仕事の場を広げ、次の夢を育て、活躍の舞台は日本国内外に留まりませんでした。皇后陛下や各界トップの方々と面識を持ち、ご自分の力で様々の事業を成し遂げていかれるお立場を確立されながら、高校生の頃一度入学を志した立教大学大学院で博士前期課程を修了なさったお話に、深い感動を感じました。

新たな夢はキラキラ光り、

諦めずに持ち続ける夢は燐し銀のようにしつとり輝く。生ある限り夢を持ち、前向きでありたいと思いました。
後輩の若人へ、同窓生の私共へ問い合わせていらつしやつたように思います。

総会・ティー・パー・ティーに 参加して



根岸とし子
昭和 40 年度卒業

ます。

さて、後半のパーティーでは、私事では御座いますが一番楽しみにしておりました箏曲部の演奏です。

期待通りの、素晴らしい琴の音色を堪能させて頂きました。

最初は現役の箏曲部の皆様の演奏で曲目は、おなじみの「さくら・さくら」それと、「鷹」です。

「鷹」は、昨年八月に宮崎県で開催された全国大会で演奏した曲目だそうです。

とても立派な演奏でした。これから益々の御発展をお祈り申し上げます。

続いて、同窓生による演奏

で曲目は、「ことうた」です。この曲のなかには、懐かしい「かごめかごめ」「ずいずい」「かごめかごめ」「ずいずい」「かごめかごめ」「ずいずい」「かごめかごめ」「ずいずい」「かごめかごめ」「ずいずい」等のわらべ歌が入っていて、会場の皆様のなかには、一緒に口ずさんでおられる方も見受けられ、とても楽しい雰囲気でした。

最後に、同窓会の副会長であり、女子高箏曲部の指導者である生田流宮城派の大師範小林茂代先生による独奏でした。曲目は、「ロンドンの夜の雨」です。

この曲は盲目の琴奏者、宮城道雄先生がロンドンのホテルの一室で聴いた雨音を曲にしたものだそうです。

時折激しく降る雨音、又小雨がぱらつく様子など、強弱を見事に表現した小林先生の演奏に、皆、身を乗り出し覗き込むようにして酔い痴れておられました。演奏が終わった時には会場割れんばかりの拍手喝采でした。

私も勝手ながら、誇らしい気持ちで一杯になりながら、精一杯拍手を送りました。

実は、小林先生とは机を並べ、就職先も同じで五十年来のお付き合いをさせて頂いておりまして、彼女の活躍が他人事とは思えないのです。

彼女が筝曲を始めたのは、女子校に入学して、筝曲部に入つた時からで、もう五十年近くになりますが、この道一筋に続けてこられた小林さんには、頭が下がる思いです。

小林さんの今後、更なるご活躍に期待すると共に是非、在校生の方々にも素敵な出会いが訪れる事を願います。

素敵な演奏の残り香漂う中、各テーブルでは初参加の同窓生のお顔も見られ、同窓会の輪が広がっているのが感じられました。

懐かしい高校時代の話や近況報告など、まるで井戸端会議のようで皆、心を許してとても楽しそうでした。私達のテーブルでは、不意に名取先生のお名前があがり、先生が食物の授業の時、よく口にした言葉が話題になりました。女性は「いつもニコニコ」「いそいそまめに」「赤、黄や緑を一皿に」でした。懐かしく思い出された方もおられる事ではないでしょうか。

現在、食育が問題視されています。同席していた同窓生のかたがたは、最後のお言葉の様に、バランスの取れた食

事を常に頭におき、家族の健康の為に努力しておられると言葉も、随分懐かしい話になつてしましましたが、今も私の力になつております。

この場をおかりしまして御札を申し上げたいと思います。先生方、有り難う御座います。

同窓会も終盤になり、来年もまた元気に会える事をお約束されている方々も数多くいらっしゃいました。

是非、まだご参加頂けていない方々も、お気軽に一緒に来て下さい。

まだまだ思い出せない懐かしいお話が沢山できるかと思ひます。よろしくお願ひ致します。

末筆ながら、この会を開くにあたり、校長先生をはじめ、諸先生方のご尽力に深く感謝申し上げますと共に、今後共、ご指導、ご協力をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

最後に、伝統ある館林女子高等学校の益々のご繁栄と同窓会のさらなる発展と会員各位のご活躍をご祈念申し上げて筆を置きたいと思

います。

なお、今年は受付に、東日本大震災の被災地への義援金

箱を用意しまして、皆様の善意をお願いしました。ご協力有難うございました。

観劇会について

鳥羽桂子

昭和33年度卒業

部、道行初音旅、吉野山、三部、

新皿屋舗月雨暈、魚屋宗五郎。それぞれ三津五郎、時蔵、松緑、菊五郎、菊之助、左團次等々伝統を受けつぎ守つて來た、役者の見事な舞台であ

素晴らしい芸に満足し充分堪能させて戴きました。また違った歌舞伎を楽しむには、新春恒例の浅草公会堂で行われる新春浅草歌舞伎がおすすめですけれど、通の方には、

ご存知かもしれません。今年もクラスの友達と堪能してまいりました。新春歌舞伎とは、昭和五十五年から続く花形歌舞伎俳優の登竜門として開演十五分前に劇場に到着出来、さいわい最初より見事が出来ましたけれど

一部では、亀次郎の村雨丸を狙う大塚躉六と八犬士の人犬山道節の二役に挑む勇姿を、二部では愛之助の恋人夕霧を思う心情を心ゆくまで堪能しました。

卒業以来三十年に六学級での全体会後より、二クラスの一泊旅行などを土台として平成十五年頃より、「三三会(サンサンカイ)」としてグループでおつきあいを続けております。月一回の食事やら

もお楽しみです。演目は一、江戸の文豪、曲亭馬琴原作、「南總里見八犬伝」滝田城主息女の伏姫と、その愛犬八房の不思議な関わりから生れ他八犬士が里見家再興を目指し奮闘します。

二、上方和事の代表的な作品の一つ「廓文章」。放蕩により勘当された伊左衛門が紙衣姿に身をやつしながらも、恋人にやつてきます。上方芸を継承する愛之助が伊左衛門を初役で勤める話題の一幕

館女恒例の観劇会は、平成二十三年十一月十二日(土)に行われました。今年度は歌舞伎です。歌舞伎座の大改修工事が行われているため新橋演舞場に向いました。当日は現地に直行する人、バスを利用する人等ですが、私の場合はいつもバスを利用しています。よろしくお願ひ致します。

演舞場に向いました。当日は現地に直行する人、バスを利用する人等ですが、私の場合はいつもバスを利用しています。よろしくお願ひ致します。

末筆ながら、この会を開くにあたり、校長先生をはじめ、諸先生方のご尽力に深く感謝申し上げますと共に、今後共、ご指導、ご協力をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

最後に、伝統ある館林女子高等学校の益々のご繁栄と同窓会のさらなる発展と会員各位のご活躍をご祈念申し上げて筆を置きたいと思

います。

現在、食育が問題視されています。同席していた同窓生のかたがたは、最後のお言葉の様に、バランスの取れた食

の催しもあり公演とともに正月の風情あふれる浅草の街

ます。人は一人では生きて行けません。家庭で、又地域社会の中で上手に助け合いながら過して行きたいものです。これからも友達を大切にし、毎日を笑顔で過せますよ。

願っております。

とりとめのない事ばかりでお恥ずかしい次第ですが、館女同窓会会員の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ結びといたします。

「館女の思い出」

針 谷 瑞 紀

平成 23 年度卒業 前生徒会長

私にとって高校 3 年間は、本当にあつという間でした。そう感じる事ができるのはやはり、内容が濃く、楽しかった学校生活だったからだと思います。

3 年間の高校生活を振り返ってみて館林女子高校に入学して一番よかつたと思うのは掛け替えのない友達を得たことです。私は英語コースでクラス替えがありませんでした。最初は正直言つて絶対苦手な子とかいるな、と思つていました。しかし、毎日一緒に過ごしていく中で、一人一人の良いところがたくさんあることに気付くことができました。もちろん喧嘩もしました。楽しいときは一緒に笑い、辛いときは支えてくれて…そんな生活を送つていくうちに

今では別れが辛いです。そう思えるのも館林女子高校に入つたから経験できたことです。そして私は高校生活で何か真剣に取り組みたいと考え、生徒会役員になりました。

館林女子高校には体育祭、球技大会、文化祭をはじめ、予餞会やオーブンスクール、新入生オリエンテーションなど行事があります。一つ一つの行事をこなしていくうちに、館女生みんなとよりよい学校にしていくと考え、実行する。そして実現していくことを、身をもつて体験し、館林女子高校に入つてよかったです。しかし、生徒会に入つてよかったです。無駄にできる時間は 1 秒もありません。最後に、

4 月 10 日(火)

入学式

第 1 回本部役員会
(総会・開校記念式典について、他)

5 月 15 日(火)

開校記念式典

強歩大会

第 2 回本部役員会
(総会・観劇会等について)

6 月 2 日(土)

定期総会
ティーバーティー

6 月初旬

6 月中旬

6 月中下旬

7 月下旬

全国大会出場後援

関東大会出場後援

第 3 回本部役員会
(観劇会等について)

10 月中旬

第 4 回本部役員会
(観劇会等について)

11 月 10 日(土)

観劇会

11 月 11 日(金)

第 5 回本部役員会
(同窓会入会式・開校記念式典等について)

1 月 11 日(金)

第 5 回本部役員会
(同窓会入会式・開校記念式典等について)

2 月 28 日(木)

3 月 1 日(金)

同窓会入会式

平成 25 年

同窓会 行事予定

平成 24 年度

4 月 10 日(火)

平成 24 年度

入学式

第 1 回本部役員会
(総会・開校記念式典について、他)

退 職

校長(国語)
瀧澤 洋典

転 出

地歴公民 石井 信行

転 入

校 長 新井 久夫

主幹 紫田 美子

保健体育 高橋 美子

主幹 幹 浦野 和美

保健体育 島田 敦子

主幹 美智子

保健体育 高橋 美子

転退任、新任職員の紹介

支えてくださった方々に感謝

の気持ちでいっぱいです。そ

して館女生であつたことは私

の誇りです。本当にありがとうございました。

平成 24 年度 入試の合格校等一覧

(過年度卒を含む) 平成 24 年 4 月 6 日現在

国公立大学 (13 名)

群馬大学 2 埼玉大学 1 群馬県立県民健康科学大学 1 群馬県立女子大学 4 高崎経済大学 4 前橋工科大学 1

私立大学 (252 名)

こども教育宝仙大学 1 フェリス女学院大学 2 亜細亜大学 2 杏林大学 2 学習院女子大学 2 関東学院大学 2 関東学園大学 1 共愛学園前橋国際大学 2 共栄大学 2 玉川大学 2 桐生大学 2 駒沢女子大学 2 駒澤大学 1 群馬パース大学 2 群馬医療福祉大学 5 恵泉女学園大学 1 江戸川大学 1 高崎健康福祉大学 9 高崎商科大学 1 国際医療福祉 1 埼玉医科大学 1 埼玉学園大学 4 埼玉工業大学 3 作新学院大学 1 桜美林大学 3 実践女子大学 4 十文字学園女子大学 1 淑徳大学 1 駿河台大学 2 女子栄養大学 2 昭和女子大学 7 上武大学 6 城西大学 2 神奈川大学 1 神奈川工科大学 1 人間総合科学大学 6 成蹊大学 2 清泉女子大学 2 聖学院大学 4 聖徳大学 5 西武文理大学 1 跡見学園女子大学 6 専修大学 1 相模女子大学 1 大妻女子大学 7 大正大学 5 大東文化大学 10 長岡造形大学 1 帝京大学 9 帝京科学大学 4 帝京平成大学 1 東海大学 1 東京家政大学 4 東京国際大学 6 東京女子大学 1 東京成徳大学 1 東京電機大学 1 東京福祉大学 6 東都医療大学 1 東洋大学 10 東洋英和女学院大学 2 東洋学園大学 2 日本大学 4 日本医療科学大学 2 日本女子大学 4 日本女子体育大学 1 日本薬科大学 1 白鷗大学 2 武庫川女子大学 1 文化学園大学 1 文京学院大学 7 文教大学 11 平成国際大学 1 法政大学 2 名古屋女子大学 1 明星大学 1 目白大学 2 立教大学 1 立正大学 14 麗澤大学 1 和光大学 1 和洋女子大学 3 國學院大学 1 獨協大学 6 獨協医科大学 2

短期大学 (45 名)

育英短期大学 1 関東短期大学 2 共立女子短期大学 4 桐生大学短期大学部 1 戸板女子短期大学 1 高崎商科大学短期大学部 1 国際学院埼玉短期大学 2 佐野短期大学 9 埼玉医科大学短期大学 1 埼玉純真短期大学 3 山野美容芸術短期大学 1 実践女子短期大学 2 新渡戸文化短期大学 1 青山学院女子短期大学 3 足利短期大学 3 大妻女子大学短期大学部 3 帝京平成看護短期大学 1 東京立正短期大学 1 國學院大学栃木短期大学 5

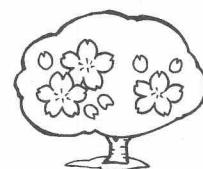
専修各種学校 (47 名)

さいたま赤十字看護専門学校 1 マロニエ医療福祉専門学校 1 浦和専門学校 2 館林高等看護学院 7 群馬医療事務学院 1 高崎総合医療センター附属高崎看護学校 1 国際テクニカル美容専門学校 1 国際理容美容専門学校 1 昭和大学医学部附属看護専門学校 1 上尾中央医療専門学校 1 足利デザインビューティ専門学校 3 太田医療技術専門学校 6 太田高等看護学院 2 太田情報商科専門学校 2 大宮スイーツ&カフェ専門学校 1 大宮医療秘書福祉専門学校 1 大宮国際動物専門学校 1 大宮歯科衛生士専門学校 1 中央医療歯科専門学校 1 東京デザイナー学院 1 東群馬看護専門学校 2 東武医学技術専門学校 1 東放学園専門学校 1 日本デザイン専門学校 1 日本医科学大学校 1 日本大学医学部附属看護専門学校 1 文化服装学院 1 獨協医科大学附属看護専門学校 3

就職 (3 名)

つづじ観光バス株式会社 1 株式会社大協精工 1 株式会社シー・エス・ケイ 1

その他 (0 名)



編集後記

緑と風が心地よい季節です。この同窓会報が卒業生の手元に届いた時のことを想いながら編集後記を書いています。これまで、一所懸命、取り組みますので、よろしくお願いします。
(記 島田)

観劇会のご案内

募集：230 名

期日：平成 24 年 11 月 10 日 (土)

宝塚“宙組”の公演を予定しております。
～お誘い合わせのうえ、ご参加ください～